

視野の広い実践的な人材の育成 ～本学の就職支援を支える3つの力～

大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部

キャリアセンター 課長

南 智幸



1 本学の概要

本学の歴史は、1940年に創設された経理専門学校として関西で最も古い歴史を有する関西経理専門学校の前身である「関西簿記研究所」から始まり、現在は7学部8学科・短期大学部を擁する総合大学として常に新たな時代を展望しつつ、確かな歩みを続けていく。

また、本学は「教育と学術の研究を通じて、広く一般社会に貢献し、且つ人類の福祉と平和に寄与する視野の広い実践的な人材の育成」を建学の精神としており、キャリアセンターでは「視野の広い実践的な人材の育成」を基に、学生が自らの職業適性や将来設計について考え、主体的な職業選択が図られるよう、就職支援行事・個人面談・企業説明会・インターンシップ・キャリア教育科目の開設・ゼミナールでの指導等を重視することで、学生一人ひとりに応じた魅力的かつきめ細やかなキャリア教育支援を行っている。

2 本学のキャリアサポートの特色 ——就職活動を支える3つの力

本学は、就職支援の中でも特に「個人面談」を重要視しており、在籍している24名のスタッフのうち、16名が国家資格キャリアコンサルタント等の専門資格を有している（2024年7月

時点）。各クラブの監督・コーチと連携した支援や、障がいのある学生への就職支援担当者配置し、外部の公的機関・クリニック・就労移行支援所等と連携した支援も行っており、学生としっかり向き合うことで個性や能力を的確に分析し、適した職種や業界と一緒に探すなど、学生個々の希望や適性に応じた専門的な支援を提供している。

また、キャリアセンターでは「学部担当システム」を導入しており、学部・学科ごとに担当者を配置し、決まったスタッフが継続して質問・相談に応じる体制を整えるだけでなく、各学部のゼミナールや担当教員と連携し、ゼミナールの実施や参加状況、進路希望や内定獲得状況など学生の就職活動状況を把握することで、それぞれの学生に応じた支援を実施している。

その他、早期に内定を獲得した大学4年次生（短期大学部2年次生）から成る「キャリアチューター」が、自らの体験を生かして後輩の就職活動をサポートする制度や、本学出身の企業経営者会である「大阪学院フェニックス倶楽部」による特別講義の実施、OB・OG訪問により将来の意識を高め、企業研究や仕事理解を深めることで志望する業界・企業への就職を後押ししている。

このように、本学では「キャリアセンター（専門スタッフ）」「教員」「先

輩」の3つの力により、学生の就職活動をサポートする体制を整えている。

3 今後の展望

本学では、卒業生数に対する就職率向上、業界大手等への就職者数増加、低年次生支援の3つについて今後、より一層力を入れていきたいと考えている。

業界大手等への就職者数増加においては、作成したリストに沿って企業訪問担当スタッフを中心に企業開拓を行うほか、学生支援の面においても業界大手・著名企業への就職を目指す意欲の高い学生を対象とした「特別プログラム」を開講し、早期から準備を進めることで業界大手・著名企業の内定獲得を目指す。

また、近年就活の早期化が進んでいる影響から、これまで学部ごとに合同ゼミ等授業の時間を活用しての支援が中心となっていた低年次生支援についても従来の取り組みに加え、ガイダンスの実施や将来について気軽に話せる場として「キャリアカフェ」を実施するなど、低年次生対象のイベントも今後増やしていく予定である。

今後も中規模大学の特徴を生かし、時代の流れと学生個々の状況を細かく把握し、その時に応じたきめ細やかな対応を通して、学生それぞれが納得のいく進路決定ができるようサポートしていきたい。